



「東海第二原発」の再稼働ストップを訴える宇野たか子市議員

**■住民の立場で市政をチェック** 宇野議員は当選以来33年間、必ず一般質問に立ってきました。持ち時間をフルに活用して、市民から託された要望などをねばり強くとりあげてきました。提案された議案は現地調査や担当課からの聞き取りをして議案質疑を行い、毎回住民の立場でチェック。介護保険料・水道料金値上げなどの議案は「認められない」と反対の立場で理由を述べてきたのは宇野議員ただ一人。議員の仕事をしっかり果たしてきました。

**■街頭でも積極的に** 平和とくらしを守り貧困と格差社会をなくすため、議会報告や、国政の問題などを街頭からも積極的に訴えてきました。「9条改憲はやめよ!」「東海第二原発は廃炉、原発ゼロの日本を!」「消費税は今すぐ5%に減税を!」などと訴えてきました。

### ■宇野たか子のお約束

- しっかりチェックして、ムダをなくし、くらし応援の市政をめざします
- 東海第二原発の再稼働ストップ、廃炉を求めます
- 国保税の引下げ、子どもの均等割の免除を求めます
- 介護保険料・利用料の負担軽減にとりくみます
- 教育費の父母負担軽減、通学路の安全確保を求めます
- 学校給食の無償化を求めます
- 新一年生へのランドセル支給を求めます
- 70歳以上の高齢者に市民バス・乗合タクシーの無料パス支給を求めます
- 耕作放棄地対策や有害鳥獣対策を強め農業を守ります
- ジェンダー平等、女性の生き生きとした生活・働く権利を守ります
- 気候危機対策を求めます
- 消費税5%への減税を求めます
- 憲法9条の改悪に反対します



### 応援 しています

#### 東海第二原発の危険から市民を守る要の議席



東海第二原発差止訴訟弁護士  
**丸山幸司**

宇野さんは、東海第二原発の避難計画について市議会が一番質問した議員さんです。水戸地裁も取り上げた重大問題を真っ先に質問するような宇野さんこそ、常陸太田市民の命と暮らしを真に守ってくれるはずです。ご支援ください。

#### 女性・市民の宝の議席



宇佐美恵子(元教員・小目町在住)

33年間、ただ一人の女性議員としてがんばってきた宇野たか子さん。平和と暮らしが脅かされているいまこそ、女性の願いをしっかりと届けてほしいと願っています。

たか子さんに引き続き議会で働いてほしい。



#### 活躍に期待しています



富岡宏子(主婦・内田町在住)

宇野たか子さんは、市議会での唯一の女性議員です。女性の目線から子育てや教育、介護など市民の身近な悩み解決に力をつくしてきました。福祉が削られ将来が心配ですが、たか子さんには、だれもが安心して暮らせる市政をつくってほしい。

#### いのちと暮らし優先



茨城県平和委員会事務局長  
**篠原 睦**(谷河原町在住)

女性議員の先駆けとなって奮闘してきた宇野たか子さんを応援しています。政治の役割は、平和な社会を土台にして、いのちと暮らしを優先することです。市政は国政とつながっています。地方自治は民主主義の学校とも。宇野さんとともに戦争ノ、教育や福祉の充実をもとめましょう。



日本共産党

市議会議員

# 宇野たか子

〈プロフィール〉 ●1949年(S24)石岡市生まれ ●石岡二高卒 ●常陸太田医師会パート勤務、生協・PTA・ボランティアサークルなどで活動 ●市議9期/文教民生委員会副委員長、予算特別委員会・決算特別委員会委員・茨城北農業共済事務組合議会議員 現在/文教民生委員会委員 ■住所/内堀町3258-5 ■家族/夫(周治) ■趣味/読書・映画演劇鑑賞・花の観賞

# 市民の願いを市政に届けて33年＝宇野たか子



「すべての小中学校にエアコン設置」や「大腸がん・胃がん検診の無料化」など実現

## これからも皆さんと力をあわせてがんばります



### 女性ならではのあたたかい目線で

33年前、常陸太田市で初の女性議員になった宇野たか子さんは、その後もただ一人の女性議員としてがんばってきました。きめ細かく、あたたかい目線からの質問・提案は「乗り合いタクシー」や「小中学校へのエアコン設置」、新年度から65歳以上を対象に「胃がん・大腸がん検診の無料化」など、高齢者や子どもにやさしい施策実現の大きな力になっています。



### よく調査・研究し具体的提案で

- 子どもの医療費を早くから提案。県内2番目に中学卒業までの医療費助成を実現。その後、高校卒業まで助成が拡大され、「家計が助かる」と歓迎されています。
- 学校図書司書の配置をねばり強くとりあげて、全小中学校に実現。その後、中学校にも配置になり、小学校の勤務日数が拡充。「子どもが本好きになった」「図書室が利用しやすくなった」と喜ばれています。
- 東日本大震災後、すぐに市長に被災対策の申し入れを行い、質問でも取り上げて「最高20万円の支援金支給や放射線量測定器の貸出しの実現に力をつくしました。」
- 猛暑が続くなか、児童生徒の命と健康を守り、適切な学習環境を整備するために、小中学校の普通教室にエアコン設置を求めてきました。学校現場の室温の状況や県内市町村の設置状況を示し、質問するなかで、やっとすべての小中学校の普通教室にエアコンが設置されました。
- 新一年生の入学祝にランドセルのプレゼントを提案してきました。入学祝いは「体操服支給になりましたが、他市が行っているように「ランドセル支給」を求めています。」



### いつも市民と力を合わせて

「住民こそ主人公」が宇野たか子議員の信条です。33年間、いつも市民のみなさんから学び、議会で発言してきました。新年度の予算編成時には毎年「予算要望書」を市長に提出し、市民の暮らしを最優先に、地方自治体の役割である「福祉と暮らしの増進」のために、よりいっそう力をつくされるよう要望しています。

「東海第二原発20年延長・再稼働反対に関する請願」の紹介議員になり、一般質問でも「廃炉にすることがいちはばん安全な道である」と原発問題を毎回取り上げ、一貫して再稼働ストップを求めています。

今期の3月議会では、東海第二原発再稼働問題「市消防本部におけるパワーハラメント対策」「新型コロナウイルス感染症対策」などについて質問を行い、コロナからいのちを守り、地元業者への支援を求めました。



国会議員に東海第二原発再稼働中止の協力要請後、首都圏の集会に参加



宮田市長に要望書を提出する宇野たか子市議



大久保市長に江尻県議と被災者募金を届ける宇野たか子市議



県議団や専門家と台風19号の被害調査をする宇野たか子市議(右から2番目は、大内くみ子参院茨城選挙区予定候補)



日本共産党県議団と台風19号の直後、被害調査する宇野たか子市議

### 宇野たか子さんの歩み

宇野たか子さんは1949年(昭和24年)、食料品を手広く商っていた両親の五人姉妹の長女として石岡市に生まれました。

#### 卓球・生徒会活動に熱中した中高時代



5歳のころ

幼稚園・小学校のころは習字が得意なちよつとおとなしい女の子、中学生になって部活の卓球に夢中になっていた頃、家の商売が傾き、両親の苦労する姿に胸を痛めながら、多感な中学時代を送りました。地元の高校に入学し、生徒会の副会長や、出版委員長として新聞づくりに熱中しました。

#### 民間会社の労組役員に

早くから両親の力になりたいと決めていたたか子さんは卒業後、民間会社に勤めました。まもなく組合役員におされ、働く人の権利と安全な職場をつくるためがんばりました。

#### 平和な社会と人々の幸せ願い



原爆ドームの前で(19歳)

広島市の原水爆禁止世界大会に参加したとき、初めて平和公園の原爆資料館を見学。そこで受けた衝撃が原点になり、平和と人々の幸せを求めて二十歳の時に日本共産党に入りしました。

#### 生協、PTA、ボランティア活動…

夫の周治さんの地元に住んで44年、子育てをしながら生協の運営委員長や、PTAの学年委員長・教養委員長として活動。



「図書館まつり」で

図書館や幼稚園で子どもたちに「紙芝居や本の読み聞かせ」をするボランティア活動は今も続いています。

#### 初の女性議員として議会に新風

1990年の市議補選で初の女性議員に当選。公約にかかげた「粗大ごみの無料回収」を市民と力をあわせて実現。以来9期33年、毎議会に質問に立ち、子どもの医療費助成や、小中学校の給食費半額助成などが実現しました。宇野たか子議員の道理ある提案が市政を動かしています。

#### 平和な日本をめざして

「ロシアは侵略やめよ」「ウクライナ危機に乗じた軍拡と憲法9条改憲を許さない!」「憲法を生かして平和と暮らしを守りましょよ。」と連日市内を宣伝カーで回り、街頭で訴えています。宇野たか子議員の話の最後まで聞いていた小学生の男の子が真剣な顔でかけ寄ってきて「大事な話をありがとございます。一人ひとりが考えて、戦争もコロナも世界からなくなるといいです」と話しました。後日宇野議員は子どもたちも心配し、不安な気持ちでがんばっているんだなあとと思うと胸が熱くなり、私ももっと頑張らねばと強く思ったと語っています。



ウクライナ侵略と核の脅しは許さない!